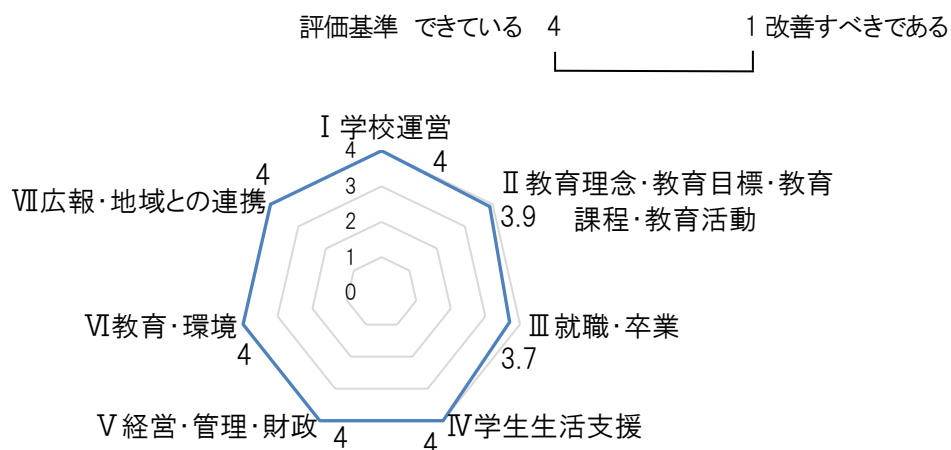


令和 6 年度 自己点検・自己評価

目的

教育評価の一環として、学校経営・管理及び教育活動、学生生活支援等に対する自己点検・自己評価を継続的・循環的に行い、改善点を見出し、教育活動の質向上を目指すとともに、地域ニーズに応える魅力ある学校となるよう努める。そのために、定期的に教育活動および学校運営の評価を行う。

自己点検・自己評価(7 領域31 項目)の結果



カテゴリー	評価点	概要
I 学校運営	4	組織目標を策定し、年 2 回の評価を行いながら全職員で目標達成に向けて活動している。 課題等に関しては随時検討し、問題解決に取り組んでいる。学校だけでなく、済生会の施設間・職員間で連携しチーム力を発揮した取り組みを行っている。
II 教育理念・教育目標・教育課程・教育活動	3.9	教育活動の評価を行い、その結果を次年度の目標や計画に反映している。新カリキュラムの 3 年次の教育科目に重点を置き、授業や領域別実習の充実、実施・評価を行った。また、学習支援ソフトの活用等で ICT の導入も定着しつつあるが、さらに工夫し活用の幅を広げていきたい。
III 卒業・就職	3.7	実習環境の充実や担当教員が必要時面接や学習支援をする体制は、卒業生からの評価が高く、看護実践能力の向上や看護師国家試験の合格率につながっている。
IV 学生生活支援	4	教員が少数の学生を担当し、学生個々にあわせた支援を継続している。精神的側面、学習面の支援のニーズが高くなっており個々に合わせた対応を行っている。
V 経営・管理・財政	4	年間計画に基づき計画的に予算・事業執行を行っている。学生の意見や要望を反映し、可能な範囲で改善や説明を行い、学生が理解し満足できるよう努めている。
VI 教育環境	4	インターネットをはじめ教材・設備は整っている。また、校内は自主的な学習ができる環境になっている。
VII 広報・地域との連携	4	学校としてできる地域活動を行った。地域と学生のニーズを考慮し、今後も活動を広げていきたい。また、地域への帰属意識が定着できるよう働きかけた。